

## 都道府県名：岩手県 団体名：岩手中部土地改良区

### 地域

岩手中部土地改良区がご活躍されている岩手県北上市・花巻市・金ケ崎町は、岩手県の中央部、北上盆地の中程に位置し、北上川と和賀川が合流する肥よくな土地に美しい田園地帯が広がり、西に奥羽、東に北上山系の山々が連なる豊かな自然に恵まれた地域です。

### 経緯

地域の水田開発の歴史は古く、文治5年(西暦1189年)頃から和賀氏一族による本格的な水田開発が行われ、さらに江戸時代初期にも積極的に開発が進められ、和賀平野の礎が築かれました。

現在は、和賀中央、更木島東部、鬼柳、和賀川、千貫石の5土地改良区が合併した岩手中部土地改良区が、県内の土地改良区では最大面積となる約1万6百ヘクタールの農地に農業用水を供給し、県内有数の穀倉地帯となっています。

### 功績内容

農業用水の安定供給はもとより、農業水利施設が有する多面的機能の維持・発揮に向けた活動などにより水資源の保全に多大な貢献をしている。

- ・ 農業用水路沿いの散策を通じて一般市民に農業用水の役割や大切さを理解してもらうための「奥寺堰ウォーキング」を平成19年度から継続開催している。
- ・ 奥寺堰の開削の歴史が北上市内小学校の副読本に取り上げられていることから、紙芝居「奥寺八左エ門物語」を作成して出前授業や出前講座などを実施している。
- ・ 地域住民組織などと農業水利施設の管理協定(アドプト協定)を締結し、非農家の施設管理参画を進めている。



奥寺堰の風景(全国疏水百選)



小学校への出前授業



奥寺堰ウォーキング



水土里ネット岩手中部  
イメージキャラクター  
「みどりちゃん」



アドプト協定に基づく地域住民による農業用水路の維持管理活動